

ひらがなニュース



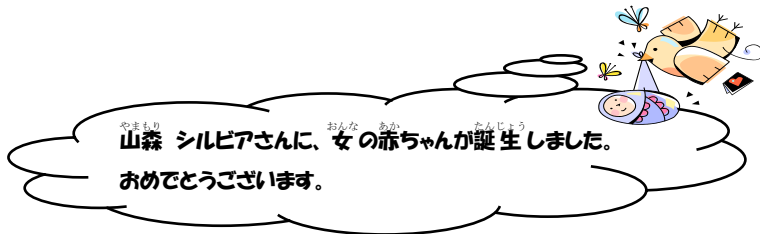
朝霞地区 インターナショナル ソサエティ
http://ais1989.hp-ez.com
代表：鈴木 明子



3月のスケジュール 10:00~12:00

7日 (金)	日本語/チャタイング テーブル 運営委員会13:00~16:00	朝霞市中央公民館 1F ギャラリー 2F 美工室
14日 (金)	日本語/チャタイング テーブル	朝霞市中央公民館 1F 集会室①②
28日 (金)	日本語/チャタイング テーブル	朝霞市中央公民館 2F 音楽室

※ 3月21日(金)の AISはお休みです。



にし ひがし
西と東



伊藤 幸代 (日本)

こんにちは。伊藤幸代です。一昨年日本へ帰国し、去年から英語のホームティーチャーをしています。米国で長く生活を送っていました。東海岸のニューヨークと西海岸のサンフランシスコです。それぞれ気候も人柄も雰囲気も全く違うのでとてもいい経験が出来ました。ニューヨークは世界各地の美味しい食事が楽しめます。様々なレストランが立ち並んでいます。その中でも日本食は物凄い人気です。特にラーメンがとても人気で一風堂などフランチャイズ店もあり長い行列で2時間待ちが当たり前でした。ラーメン1杯平均\$12+チップ\$3合計\$15と日本の倍以上高いです。でも内装がお洒落でパフォーマンスも「いらっしゃいませーっ！」と威勢がよく、楽しい雰囲気も味わえます。西海岸のサンフランシスコでは車が必需品で中古車を購入し生活を送っていました。ペーパードライバーだった私は気が付けば4WDを乗り回し、時間の合間にはサンタクルーズの海岸まで行ってサーフィンをするのが楽しみでした。日中は青く澄みきった青空、夜は沢山の星が見えてとても綺麗でした。気候が暖かいせいか現地の方は穏やかで優しいです。同じ大陸でも西と東ではこんなに違うんだなと思いました。

今までの経験を活かし、少しでも日本の子供たちの役に立てたかなと思います。そして海外では沢山の方たちに助けられてここまでこれたので、私も日本で頑張っている外国の方に少しでも何か協力できたら、そして仲良く交流が図れたらと思っています。日本を一度離れて、異国で生活をしたお陰で日本の素晴らしさが改めて感じ取れて良い経験となりました。

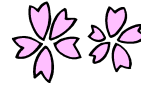
うんえいいいん かつどうほうこく

● 運営委員の活動報告

2月 7日 運営委員会/ 出席者: 運営委員 8名、オブザーバー1名
・各部からの報告 ・AIS 25周年記念行事について ・総会準備
・東上沿線日本語教室連絡会に伊藤(や)が出席しました。

● インフォメーション

・勉強会「日本語を 考 えよう」 3月14日(金) 9:00~9:50



国際交流に関して

アラタン チムグ (内モンゴル)

近年、中国で反日デモが度々起り、その背景は、靖国神社参拝、尖閣諸島問題とか、または、中国の国内の問題、政治作戦など取り上げられて騒いでいるのですが、よく考えてみると、それらの問題は、ただの表面上の問題であり、両国の国民がお互いのことをあまりわからないことも大きく影響していると思います。

毎回、デモの時期、私が中国にいる友人たちに連絡して様子を聞くのですが、ほとんど、来日した経験のある方が日本を友にして、来日した経験がない方が日本を敵視しています。

その中でも、日本人の友人がいる方、または、日本の製品を使った経験のある方など、日本と少しでも関わりがある方々なら、そんなに軽い気持ちでデモに走らないような気がします。上海にいる友人が「デモに走っている方々は、日本とほんの少しもつながりがない方々だと思いますよ」と話していたことは、とても印象的でした。

そして、昨年のデモのとき、ニュースをみていたら、中国の現地でインタビューに応じた若い女性が「私の周りに、日本に一回でも行った経験がある方なら、10人いれば10人とも日本を好きになります」と堂々と答えているのを見て、とても同感しました。

あるとき、日本で中国の研究者と食事する機会がありました。その方が色々なことを話してくれたのですが、その中で一番心に残ったのは、その方が初めて訪日した時のことでした。

「私が初めて訪日したのは1990年でした。そのとき私はとても不安でした。でも、それまで私の頭の中にあつた日本のイメージと目の前の現実のギャップがあまりにも大きくて、驚きました。まるで私の思想が乱れた感じで、そこで考える暇もなかった。そして私は「帰国してから日本に関して、徹底的に考え直すべきだ」と決心しました。その後、あらゆるチャンスを掴んで、私が中国と日本を往来するようになりました」とその内容でした。

上記の内容は、ほんの一部ですが、私も日本に来てから国際交流の中で、その国民の交流、つまりAISのような国際交流の活動が本当に大事だと思いました。AISに一回でも参加した経験がある方は、きっと日本を友にすると私は信じております。

国の政策で各国の間で技術交流をはじめ色々交流できるのですが、その中で一番基本は、やはり国民の心の交流だと思ふようになります。人間は、国籍を問わず、心をもっています。そして、各国の間の国民の心の交流も世界に平和を与える大きな一因になるといつも思います。

2014年 2月 28日 発行 事務局：三浦

広報：井原 編集：ウォルドロン 印刷・発送：Bグループ